

歴史 活動例A「日本の歴史の流れと特色」

(1) 学習単元と具体的な学習内容

学習単元：内容（1）ア

○時代の移りかわり

具体的な学習内容

○年代 ○日本の時代区分

中学校における歴史学習の導入の単元であり、一般には小学校での歴史の学習を振り返り時代区分を確認する学習を行って歴史学習への関心・意欲を高める学習として位置づけられる。また、歴史学習の方法を意識的に学ぶ単元でもある。日本の歴史の全体像をとらえ、歴史の学習に取り組むための準備の学習として重要な内容である。

(2) 目標

①社会科としての目標

・年表の読み取り活動等を通し、西暦による年代の表し方や日本の歴史の時代区分について知らせる。

②身につけさせたいスキル

・西暦についての知識を利用して年代を表したり年表を見たりするスキル。
・歴史上の事柄に関して課題設定、課題探求をし、その結果をまとめるスキル。

③身につけさせたい日本語のスキル

・西暦の年号の言い方や時代の名称を知り、年表や歴史資料を見て気付いたことを簡単に表わすスキル。
・調べたことを「課題、調べる、調べ方、まとめ、感想」という構成でポスターや報告書にまとめるスキル。

(3) 対象とする生徒のイメージ

経験 知識	日本の歴史についての学習経験はあるが、ほとんど覚えていない。出身国の歴史の大まかな流れについては知っている。日本の歴史資料に触れるという経験はない。
日本語の力	日常生活上必要な会話がなんとかできる。ただし、授業の内容は聞いてもほとんど理解できない。文型などを利用した作文ができ、ひらがな・カタカナの読み書きはできる。漢字は、小学校の2年生程度の簡単なものであれば読み書きできる。

(4) 学習の流れと参加支援の例 (全体の時間数 4 時間程度)

	在籍学級における学習活動例	学習への参加を促すための支援の例
つかむ	①年表と歴史上の出来事や人物、建造物などの資料（カード型）を並べながら、日本の歴史の流れを大まかにとらえ、関心を持つ。	○教科書や資料集の歴史資料をいくつか取り上げ、年表に照応させて並べさせ、時代の流れをとらえさせる。 ○生徒が特に関心を見せた時代については、教科書の該当頁の資料を利用して、その時代を代表する建造物や出来事を簡単に解説する。
まとめる	②関心をもった事柄についてテーマを決定し、調べる計画を立てる。	○調べ学習の成果物（ポスター、レポート等の作品）を示し、内容や構成を確認し、課題と作業をイメージさせる。 ○関心のある時代の資料を見てやりとりして疑問を引き出し、テーマを設定させる。 ○調べ方については、具体例を示し、そこから選択させる。
ひろげる	③図書室、インターネット等を利用して資料を収集し、テーマについて調べる。	○図書室の利用方法やパソコン、インターネットの利用方法について実際に資料収集活動を行いながら説明する。 ○やりとりを通して、検索のためのキーワードを示す。
発信する	④調べたことを、ポスターにまとめ、報告会を行う。調べた時代を年表上で確認する。	○ポスター例を見て話し合い、構成（テーマ、調べたいこと、調べ方、調べた結果、感想等）を確認する。 ○ポスター作成のポイント（年表、地図、絵等を添える、内容毎に分けて示す。『～だ』『～である』体で書く等）を、ポスター例についての話し合いを通して伝える。 ○やり取りを通して適切な表現を伝える。

※網掛け：(5) 指導案で示す授業

(5) 指導案

①本時の目標：ポスターや報告書の例を見て歴史の調べ方とまとめ方をイメージさせ、自身の課題を決定できるようにする。

②本時の展開

	学習活動	・指導上の留意点、★教材	○日本語支援 (タイプ)
導入	①数種類の作品（調べ学習の成果物）のテーマを当てる活動をする。	・作品（成果物）とテーマ（カード状にする）を提示し、組み合わせさせる。また、組み合わせの理由を問う。	○各テーマの時代を年表で確認する。【記憶・表現】 ○作品には読み仮名を振る【理解】 ○作品の構成を示すカードを準備

	②作品の構成と内容について話し合い、課題と作業を理解する。	・作品の構成(テーマ、結果、感想、絵図等)を理解させて、学習の仕方をイメージさせる。 ★作品例 ★時代名カード	し、やりとりの途中でそれを示す。【理解・表現・記憶】
展 開	③関心のある時代の資料(教科書の)を見て話し合い、テーマと調べることを決める。 ④調べる方法を決める。	・資料について具体的に問いかけ、本人の関心事を引き出す。それをテーマとして設定させる。 ・調べ方は具体的例から選択させる。 ★人物、建造物、道具等の図版や写真、出来事のイメージ図版等 ★調べ方を示すもの(PC、資料集等) ★キーワードカード	○生徒に資料を選択させる。 【自律・情意】 ○具体的に問いかけながら資料を読み取らせる。 【理解】→問いかけ応答の例参照 ○生徒の疑問や関心を拾い上げ、日本語で表現方法を伝える。 【表現】 ○やりとりの内容をキーワードで示しテーマを決定させる。 【表現・自律】
ま と め	⑤テーマ、調べること、調べ方を、シートにまとめる。	・話し合っただけ決定したことを作業計画シートにまとめさせる。 ★作業計画のシート(読み仮名あり、できれば母語訳付き)	○導入、展開段階で出たキーワードを板書しておき利用させる。 【表現】 ○シート記入時には、やりとりしながら表現方法を示す。【表現】

<キーワード>

歴史に関することば：歴史、時代、時代の流れ、〇〇時代、+資料に関する重要語彙
(人物、建造物、事物、出来事名)

学習方法に関することば：ポスター、テーマ、調べ方、まとめ、感想、年表、絵、

(6) 教材・教具、問いかけ・応答の例

①問いかけ・応答の例

生徒の日本語の力や歴史学習の状況にあわせて表現を調整する。

○ T「この建物はいつの時代のものですか。年表を見てください。この建物はいつ、どの時代?どの時代の建物ですか。」

S「この時代」(年表を指さして)

T「そうですね。江戸時代ですね。」

○ T「この建物を見て、どう思いますか。この建物を建てた人は、どんな人だと思いますか。」

S「大きくてきれい。多分、力が強くてお金がある人、王様みたいな人」

T「とても飾りがきれいで豪華ですね。これは、江戸時代の王様、将軍が建てたものです。」

上の問いかけでは引き出せない場合、次のように言い換えてみてください。

○ T「これは、平安時代？鎌倉時代？江戸時代？どの時代ですか？年表のどこ？」

S「ここ」（年表を指さして）

T「江戸、江戸時代ですね」

○ T「この建物すごくきれいですね。誰が建てたと思いますか。どんな人？」

S：「わかんない。でも、お金もち、強い人」

T：「これは、江戸時代の将軍が建てたものですよ。将軍は王様みたいな人。力が強くて、お金もありました。」

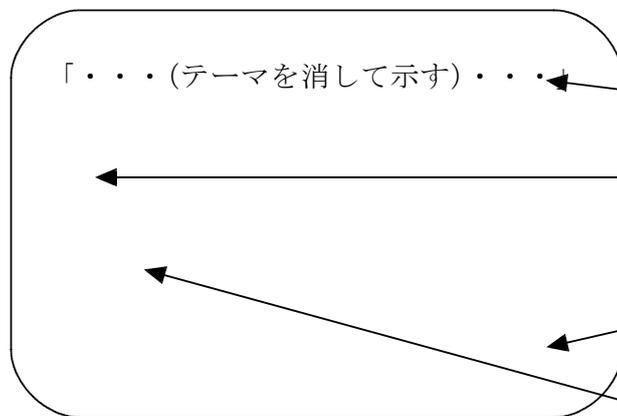
②教材・教具

1) 作品例とそのテーマのカード

歴史学習の最初の段階で行う活動である。教科書の最初に、調べ学習のポスターやレポート、ワークシートなどの作品例が示されているので、それを利用する。ただし、漢字に読み仮名を振る、情報量を減らす、写真や図版を加えるなどして、子供たちが理解し易くなるよう加工してください。作品はテーマを隠して示し、カードに書かれたテーマとマッチングさせる。

(例) 次のようなものをいくつか準備します。(例：東京書籍『新しい社会 歴史』pp. 10-13)

①作品



②内容・構成カード

作品の該当箇所に貼る

テーマ

しら けっ か
調べた結果

かん そう
感想

え ねんびょう ちず
絵、年表、地図など

③テーマカード

じょうもんじん しよくじ
縄文人の食事

④時代名カード

じょうもんじだい
縄文時代

